

専門学校赤門自動車整備大学校 令和6年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	基本計測				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	30時限	単位時間数	60.0時間(2.0単位)		
教科書等持参品	・2級自動車ガソリン ・2級自動車ジーゼル ・2級自動車シャシ ・整備機器				
教科担当	・榊原 友紀・我妻 孝・大和田 英彦・皆川 幸正・岡崎 英貴・三島 哲・佐藤 信也 ・吉田 直人・伊藤 太・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各エンジン部品の計測を正確にできるようになる。</li> <li>各シャシ部品の計測を正確にできるようになる。</li> <li>作業における安全に関する知識を習得する事ができる。</li> </ul>				
概要	項目				時限
	・エンジンの各部品計測作業				26
	・M/T、D/F、ステアリング装置の計測作業				4
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケール、ノギス、マイクロメータ、トルクレンチ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、スコヤ、ストレートエッジについて理解でき、シャシ装置やエンジン各部品を正しく計測ができる。</li> </ul>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケール、ノギス、マイクロメータ、トルクレンチ、ダイヤルゲージ、シリンダゲージ、スコヤ、ストレートエッジ</li> </ul>				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和6年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	シャシ				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	132時限	単位時間数	264時間(8.8単位)		
教科書等持参品	・2級ガソリン・ジーゼル自動車シャシ編 ・赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・榊原 友紀・我妻 孝・大和田 英彦・皆川 幸正・岡崎 英貴・三島 哲・佐藤 信也 ・吉田 直人・伊藤 太・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4AT、CVTを分解、組立が出来、構造を理解できる。</li> <li>・エア式・複合式ブレーキ装置の構造・作動を理解する</li> <li>・全浮動式アクスルの構造を理解できる。</li> <li>・マニュアルトランスミッション及びシンクロ機の構造・作動を理解する。</li> <li>・パワーステアリングの構造・作動を理解する。</li> </ul>				
概要	項目				時限
	・4AT、CVT、M/T、D/Fの分解、組付け、M/Tの脱着				62
	・タイヤの組み換え、バランス調整作業				10
	・エアサスペンションの分解、組付け				5
	・ブレーキバルブ、ブレーキチャンバ、リレーバルブ分解、組付け				5
	・エアコンディショナー整備				10
	・全浮動式ハブの分解、組付け				10
	・パワーステアリング(油圧式・電動式)の分解、組付け				10
	・ホイールアライメントの測定、調整				10
	・二輪車の車体整備				10
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子制御式オートマチック・トランスミッションの構造及び作動理解ができる。</li> <li>・エア式ブレーキ、A/T、M/T、D/Fの構造・作動を理解できる。</li> <li>・ブレーキ分解組立作業を通じて、安全かつ正しい作業工程を理解できる。</li> <li>・実際の職場環境同様、誰とでも安全かつ迅速に正しく作業ができることを目指す。</li> </ul>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランスミッション(4AT・CVT) ・エアブレーキ装置一式、乗用車、トラック</li> <li>・ステアリングギヤボックス(油圧式・電動式) ・貨物車(実車)</li> </ul>				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和6年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	電 装				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実 習
総 時 限	74時限	単位時間数	148時間(4.9単位)		
教科書等持参品	・2級ガソリン自動車エンジン編 ・2級ガソリン・ジーゼル自動車シャシ編		・2級ジーゼル自動車エンジン編 ・赤門オリジナルテキスト		
教科担当	・榊原 友紀・我妻 孝・大和田 英彦・皆川 幸正・岡崎 英貴・三島 哲・佐藤 信也 ・吉田 直人・伊藤 太・須藤 裕幸・中森 和智				
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両に関する電気装置の脱着が出来る。(パワーウィンド・レギュレータ脱着)</li> <li>・配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。</li> <li>・オルタネータの脱着が車上でできる。ラジエータ脱着、LLC交換など付随する作業も含む</li> </ul>				
概 要	項 目				時 限
	・車両ドア分解、レギュレータ脱着				10
	・エアバック、ステアリングコラム分解				10
	・配線図集を見ながら実車の各配線の点検、確認				20
	・実習車よりオルタネータ脱着				5
	・実習者よりスタータ脱着				5
	・電子ブロック、サーキットテスターを使用して、電装品を理解する				24
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。</li> <li>・部品の脱着を通じて車両を取扱う上での注意点、車両チェックをマスターする。</li> </ul>				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキットテスタ・スタータ・オルタネータ・オシロスコープ・電気配線図集</li> <li>・電子ブロック・実習車両(実車)</li> </ul>				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合 格 49～30点：2 29～ 0点：1 不 合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和6年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	エンジン(ガソリン・ディーゼル)				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	73時限	単位時間数	146時間(4.8単位)		
教科書等持参品	・2級ガソリン自動車エンジン編 ・2級ディーゼル自動車エンジン編 ・赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・榊原 友紀・我妻 孝・大和田 英彦・皆川 幸正・岡崎 英貴・三島 哲・佐藤 信也 ・吉田 直人・伊藤 太・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	・エンジンの種類の違いを学び、主要部品の名称・役割がわかる ・エンジンの違いにより分解手順、方法の違いを学ぶ。 ・分解時、諸注意に気を付けて行動が出来る。				
概要	項目				時限
	・水平対向エンジン(OHV)分解、組付け				10
	・ガソリンエンジンの分解、組付け				10
	・ディーゼルエンジン(OHV)の分解、組付け				10
	・ディーゼルエンジン(バランスシャフト)の分解、組付け				10
	・V6エンジンの分解、組付け				8
	・ダイハツ軽自動車のエンジン分解、組付け				8
	・水平対向エンジン(DOHC)の分解、組付け				9
	・スズキ軽自動車エンジンの分解、組付け				8
到達目標	・分解作業によりエンジンの構造を理解する。 ・分解上の諸注意に気を付け安全配慮が出来る。 ・エンジンの違いにより分解手順、方法の違いを理解する。				
使用教材	・水平対向エンジン ・ディーゼルエンジン ・ガソリンエンジン ・V6エンジン				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和6年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	故障探求				
履修年次	2年次	履修学期	10月～11月	授業形態	実習
総時限	20時限	単位時間数	40時間(1.3単位)		
教科書等 持参品	・2級ガソリン自動車エンジン編 ・2級ガソリン・ジーゼル自動車シャシ編		・2級ジーゼル自動車エンジン編 ・自動車の故障と探究		
教科担当	・榊原 友紀・我妻 孝・大和田 英彦・皆川 幸正・岡崎 英貴・三島 哲・佐藤 信也 ・吉田 直人・伊藤 太・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	・故障診断が的確に出来るよう理解する。				
概要	項目				時限
	・故障診断の進め方 (効率的な診断・診断の基本)				1
	・故障診断の進め方 (原因の推定)				1
	・故障診断の点検方法 (エンジン・シャシ)				4
	・故障診断の点検方法 (外部診断機OBD)				4
	・故障診断の点検方法 (外部診断機を使用した点検)				4
	・故障診断の点検方法 (各センサーの単体点検)				3
	・故障診断システムの点検				3
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン各部の構造、作動を理解する。</li> <li>・効率的な診断を心がけると共に診断の基本について理解する。</li> <li>・電子制御の各センサーの作動を理解し点検ができる。</li> </ul>				
使用教材					
成績評価の方法	※ 定期試験の得点により    100～85点：5    84～65点：4    64～50点：3    合格 49～30点：2    29～ 0点：1    不合格				
教科担当の 自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				

専門学校赤門自動車整備大学校 令和6年度 授業計画 (シラバス)

学科名	二級自動車整備士科・一級自動車整備士科				
科目名	定期点検・検査作業				
履修年次	2年次	履修学期	4月～12月	授業形態	実習
総時限	12時限	単位時間数	24時間(0.8単位)		
教科書等持参品	・自動車定期点検整備の手引き ・法令教材 ・赤門オリジナルテキスト				
教科担当	・榊原 友紀・我妻 孝・大和田 英彦・皆川 幸正・岡崎 英貴・三島 哲・佐藤 信也 ・吉田 直人・伊藤 太・須藤 裕幸・中森 和智				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路運送車両法の点検及び整備、検査を理解する。</li> <li>・定期点検（法定点検、新車点検）の必要性を理解する。</li> <li>・自動車点検基準に合わせて整備内容を習得する。</li> <li>・リフトでの上げ下げの声だしが自然にできるようにする。</li> <li>・自らが作業の効率を上げるために、考えられるよう意識させる。</li> </ul>				
概要	項目				時限
	・点検と検査の違い 受入(点検)－法定点検－引渡 を理解する。				1
	・12ヵ月点検の実施要領、記録簿を元に、点検実施、不具合箇所を洗い出す。				4
	・24ヶ月点検の実施、記録簿を元に、点検実施、不具合箇所を洗い出す。				4
	・検査ラインで保安基準適合確認				3
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定点検を決められた時間で、確実にこなせるようにする。(車両が変わっても行える)</li> <li>・自らが作業の効率を上げるための行動が出来るようにする。</li> <li>・定期点検記録簿が、漏れなく記入できるようにする。</li> </ul>				
使用教材	・実習車(実車)				
成績評価の方法	※ 実技実習 実習レポート(内容により50～0点) 豆テスト又は課題物(25～0点) 実習の取り組み姿勢(25～0点) 計100点満点(50点以上合格)				
	※ 定期試験の得点により 100～85点：5 84～65点：4 64～50点：3 合格 49～30点：2 29～0点：1 不合格				
教科担当の自動車整備経験	自動車販売・整備に関わる会社にて自動車整備士としての勤務経験がある。				